



# Well - Being Challenge おおがわら

## 納涼 ニュースポーツ体験会 参加者募集 !!

開催日時 8月19日(水) 9時50分～(受付:9時30分～) 参加費 無料

会場 金ヶ瀬公民館 大集会室 対象者 小学生以上 定員 20名程度

実施内容 ★ピククルボール ★フライングディスク ★公式ワナゲ  
※実施種目は変更になる場合がありますので、予め御了承ください。

申込方法 右記二次元コードから、または、スポーツまちづくり推進課へ電話で8月5日(水)から17日(月)までの期間にお申込みください。  
※電話受付時間：平日9時～17時 土・日・祝日は対応しておりません。



申込みはコチラ

その他 ・運動のできる服装、室内シューズを持参してください。  
・水分補給のための飲み物等は各自準備してください。  
・保険は各自で加入してください。

夏休み特別企画

参加者に  
クリアファイルを  
プレゼント!!

～お詫びと訂正～

7月号に掲載の「町長杯春季ビニールボール大会」の結果に誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。

【訂正後】準優勝 Blaze

### 各種大会結果報告

#### 町長杯春季ゲートボール大会

6月29日実施

優勝 堤  
準優勝 新開



WBCおおがわらの問合先▶スポーツまちづくり推進課 ☎0224-87-8040

## かんたん 健康 Cooking

### 生わかめとちくわの炒め



写真は1人分

【ひとり分栄養価】  
エネルギー：82Kcal 塩分：1.1g

調理担当 ヘルスメイトからの一言

簡単に作れるので忙しい時の一品にもってこいです！  
わかめには食物繊維が豊富ですのでぜひ作ってみてください！

小笠原 月子(小山田区)

問合先 健康推進課 健康推進係(1階4番窓口)  
☎0224-51-8623



### 材 料(2人分)

- ・生わかめ……35g
- ・ちくわ………1本
- ・ねぎ(小)…1/2本
- ・しょうゆ……小さじ1/2
- ・ポン酢………小さじ1
- ・ごま油………大さじ1
- ・白ごま………少々

### 作 り 方

- ①生わかめは1分くらい水につける。洗って絞り、食べやすい大きさに切る。
- ②ちくわ、ねぎは斜め薄切りにする。
- ③フライパンにごま油を入れ、生わかめとちくわを入れて炒める。火が通ったらねぎを入れ、軽く炒める。
- ④しょうゆを入れて炒めた後、最後にポン酢をかける。
- ⑤器に盛り、白ごまをかけてできあがり。



これまでのレシピはコチラから！

町長エッセイ  
Mayor's Essay

さくら並木

日本創成会議(座長 増田寛也氏)の『消滅可能性自治体』の発表から早10年以上が経ちました。若年女性(20～39歳)人口が減少し続ける限り、出生率は低下を続け、人口減少に歯止めがかからず、最終的には自治体の消滅可能性が高まるとの分析でした。大きな衝撃を受けましたが、人口流出(社会減対策)に重点が置かれ過ぎていて若年人口の近隣自治体間での奪い合いが助長されたように感じています。結果として、出生率向上に結び付く訳でもなく、全体の人口減少基調を変える警鐘にならなかったのではないのでしょうか。

減少時代の地域・町村の価値と展望』と題した説明会がありました。小田切教授のまとめでは、『人口減少社会においては、人口を増やすことや都市型の高密度社会を目指すことだけが目標ではない。小規模・低密度・分散という条件も受け入れながら地域が主體的に順応し、試行錯誤を積み重ねる社会こそが今後の地域政策の方向性である。』との結論でした。

(7月14日記)

tree doctor

第59回 世界で活躍する育種家にお会いして  
今年の4月、桜の研修(前回掲載)で函館市を訪れましたが、目的のもう一つは日本を代表する桜の育種家、浅利政俊先生に会うためでした。私が育種(品種開発)を始めるきっかけになったかたです。2002年当時、面識はなく、一度の電話でしたが「非常に苦労したから、この道はやめた方がいい」という言葉が妙に心に残りしました。

その真意を探りつつ、いつかお会いしたいと知人を介してようやく所在がつかめた時には95歳のご高齢。急ぎ1泊2日の計画で七飯町へ向かいました。新幹線で3時間後にはご自宅を訪問でき、面会は1時間余りでしたが有意義なひとときでした。

先生は小学校教諭時代に100品種以上、国内品種の約3分の1に及ぶ桜を開発し、衰退していた北海道松前公園の桜を250種、一万本の一大名所にした立役者です。開発した桜は先駆者・三好学博士の文献と照らし合わせ、合格したものだけを世に出してきたといいます。

今も先生は現役で活動されており、自宅庭園を案内する姿は桜への思いに溢れていました(写真①)。

また、先生は桜を「平和の使者」と捉え、国外に送る活動にも取り組まれています。「送るにも虫の卵一つ見つ



れば全部廃棄されるからね」と、過去に日本がソメイヨシノをワシントンD.C.(ポトマック公園)へ送る際、難しかったことを例に挙げ、検疫には最高の努力が必要だといいます。これまでにポラードなど12か国に送り、英国では「紅豊」などは日本以上の普及率とか。直近ではウクライナの戦況終結を願って、新たな品種も開発済みで、苗を送る計画が進んでいるとのこと(写真②)。先生の眼差しはまだ遠くを見ているようでした。

要は、並みの努力では成し得ないということです。私もより一層精進いたします。



町内在住の樹木医

尾形政幸先生の花は桜木